

忘れられない10日間

藍住東中学校 山谷 和花

私はこの夏、学校の研修プログラムでオーストラリアを訪れました。約一週間半の短い滞在でしたが、日本では体験できないことばかりで、とても貴重な時間となりました。オーストラリアの人々、自然、文化に直接触れることで、世界は広く、多様であることを実感しました。

まずシドニーに着いて最初に訪れたのが、オペラハウスでした。テレビや写真で見たことはありましたが、実物は想像以上に大きく、独特のデザインがとても印象的でした。ガイドさんの説明によると、オーストラリアのシンボルとして多くの人々に愛されているそうです。



次に訪れたのが動物園です。ここでは、コアラやカンガルーなど、オーストラリアならではの動物たちに出会うことができました。特に、コアラとの触れ合い体験が印象に残っています。カンガルーには実際にエサをあげたり触ったりすることもでき、その毛の感触や動きから生命の温かさを感じました。動物たちは広い敷地でのびのびと過ごしていて、ここでも日本との違いがありました。

現地の学校にも数日間通いました。日本の学校とは違い、教室の雰囲気はとても自由で、先生と生徒の距離が近いことに驚きました。授業中でも生徒たちは積極的に発言し、間違いを恐れずに意見を言う姿勢が印象的でした。また、休み時間になると、みんなで外へ出てバスケットボールをしたり、おしゃべりを楽しんだりしていて、とてもフレンドリーでした。

私が最も楽しみに、そして緊張していたのがホームステイでした。ホストファミリーはとても優しく、毎日の終わりには、「今日はどうだった？」と聞いてくれました。夕食の時間には、家族全員がそろってテーブルを囲み、たくさん話をしました。食事は日本とは違い、肉料理やサラダが中心でしたが、どれも美味しくてすぐに慣れました。朝食には、シリアルや

トースト、ランチにはサンドイッチが多かったです。特に印象に残っているのは、タコスで、私がとても気に入ったので2回も作ってくれました。ホストファミリーがたくさん話しかけてくれることで、私の緊張はすぐに解れ、とても充実した一週間となりました。

また、オーストラリアの文化で特に印象的だったのは、キリスト教の影響が日常生活の中にあることでした。ご飯を食べる前には祈るなど、信仰が生活の一部になっているのだと感じました。日本では宗教について深く考える機会が少ないので、とても新鮮でした。

このように、オーストラリアではたくさんの「初めて」を経験しました。美しい自然、親切な人々、美味しい料理、そして異なる文化。それらすべてが私の心に深く残っています。今回の体験を通して、英語をもっと勉強したいという気持ちが強くなり、またオーストラリアを訪れたいと強く思いました。

オーストラリアで出会った人々や景色、体験の一つひとつが、私にとって大切な思い出です。これからも、世界のいろいろな国の文化に触れて、自分の視野を広げていきたいと思えます。

